

博報堂DYメディアパートナーズ2010年度入社式社長挨拶

株式会社博報堂DYメディアパートナーズは4月1日(木)午前10時、東京都港区赤坂の本社に新卒採用者13名を迎え、佐藤孝社長以下、役員および部門長が出席し、2010年度入社式を行いました。新社員がひとり一人紹介された後、佐藤社長が歓迎と激励の言葉を贈り、新入社員代表がそれを受けて決意の言葉を述べ、式を終了しました。

佐藤社長挨拶の趣旨は以下の通りです。

皆さん、入社おめでとうございます。今日ここに13名の新しい仲間を迎えることができました。私をはじめとする博報堂DYメディアパートナーズグループ、そして博報堂DYグループの先輩たちが、ここにいるひとり一人に大きく期待しています。私たちが仲間であると認めた皆さんですから、胸を張って、その期待を受けとめてください。

当社が「総合メディア事業会社」として活動を開始してからの6年間とは、デジタル化の進展によるメディア環境が大きく変化し始めた時期と奇しくも重なります。マーケティングを取り巻くコミュニケーション構造が複雑化する中で、博報堂DYメディアパートナーズは、その潮流、変化に対応しながら、前進そして成長してきました。

その中核にあるのは、「メディア効果をデザインする」という企業理念です。自由に発想し、創意工夫と知恵とを縦横無尽に組み合わせることによってのみ、この理念は現実のものとなります。皆さんもいち早く「メディア効果をデザインする」という企業理念を理解し、仕事へ取り組む指針としてください。

今年度は、当社が新しいステージへと進む、意味のある一年になります。広く情報を認知させる力を持つマスコミュニケーションと、企業と顧客とが直接的につながるデジタルコミュニケーションとを高い次元で融合させる「統合コミュニケーション」の実現によって、博報堂DYメディアパートナーズは「次世代の総合メディア事業会社」にむけての歩みを進めます。

広告ビジネス、そしてメディアビジネスは大きな変化の真っ只中にあります。当社はこれまでの常識にとらわれることなく、イノベーションを生み出していく「これからのやり方」を編み出し、自らの力でビジネス上の革新を作り出していく時であると考え、活動を進めているところです。

皆さんのような新しいメンバーにも、その一翼を担っていただきたい。いわゆる「デジタルネイティブ」として育ち、さまざまな経験を積んできた世代が当社の戦力として

加わってくれることは、非常に頼もしい。自分自身の経験や智恵に自信を持って、思う存分に先輩達にぶつかってきてください。

一人の人間の活動には限界があります。しかし多くの人たちが集まり、知恵を出しあうことで、クリエイティビティの可能性は無限に広がります。当社グループに上下左右の垣根はありません。全ての社員がアドマンとしての専門性を培い、そして組織や職種の垣根を越えた連携を実践することによって、会社としてさらに強くなっていく。

存分に議論を交わしながら、「統合コミュニケーション」の実現、そして「次世代の総合メディア事業会社」の実現に向けて、共に進んでいきましょう。

###